

外壁の色彩計画等について

(1) 外観イメージ

意見：パターン 3 の提案が良いのではないかな

対応：パターン 3 を基本として、耐久性を中心に外部の検討を行う。

(2) 外壁色彩等について

1) 外壁の色彩

意見：グレー系ではなく、存在感・品格・重厚感があり、締まって見える色が良いのではないかな

対応：意見として出された“純色ではない色”として、下記の色を提案し、懇談会の感想を伺いたい。

汐見通り側：ベージュ、茶、レンガ系の 3 色。

妻 面：薄いグレーを採用（明るい雰囲気としたい）

2) サッシの色について

意見：シルバーではなく外壁に合うような色が良いのではないかな。（カラーサッシ）
アルミ以上の良い材料を使用した方が良いのではないかな。

対応：アルミ製断熱サッシ、シルバー仕上げとする。

理由：塗装は経年劣化があるので、金属材の塗装を最小限とし、シルバー色でも違和感のないタイルを選定することで、建物が長時間経過しても、貧相にならないように配慮した。

3) ガラスについて

意見：省エネ、環境保護を考慮したものが良いのではないかな。

対応：省エネを考慮し、透明の複層ガラスとする。

理由：・透明の複層ガラスを採用することで、年間熱負荷係数(PAL) を 200 MJ/m² を実現。
・low-e ガラスを使用すると、冬季の暖房負荷の減少より夏季の冷房付加が増えることで、省エネとはならない（建物内の内部発熱が多いため）。
・熱線反射ガラスを使用すると、周囲に反射障害が生じる。
・熱線吸収ガラスは、北海道においては熱割れが生じる恐れがあり、好ましくない。

総合的に
判断

参 考

PAL とは、Perimeter Annual Load：年間熱負荷係数のことを表し、エネルギーの使用の合理化に関する法律（通称、省エネ法）で、建物の規模、用途別に数値基準が定められています。

建物の断熱性についての基準

目的：建築物の外壁・屋根、窓等を通しての熱の損失の防止

計算方法

$$PAL = \frac{\text{ペリメータゾーンの年間熱負荷 (MJ/年)}}{\text{ペリメータゾーンの床面積 (m}^2\text{)}}$$

- ・ ペリメータゾーン：外壁・屋根・窓など、外界の気象条件の影響を受ける建物内の内部空間を言います。

建築物が、1年間の冷暖房に必要とする単位床面積あたりの、外部から侵入する熱と内部から発生する熱の合計を示したもので、値が小さくなるほど断熱性能が高いこととなります。

法律で定める PAL の基準値

建物用途	ホテル等	病院等	物品販売業等	事務所	学校	飲食店
基準値 (MJ/年m ²)	420	340	380	300	320	550

北海道開発局営繕部の基準

240 (MJ/年m²) 以下とする。



A-2

南西側 立面図 1/100



南東側 立面図 1/100



北西側 立面図 1/100



株式会社INA 新建築研究所
東京・札幌・東北・名古屋・大阪・九州

訂正

発行	作成
承認	検印

プロジェクト名	プロジェクトコード
吉小龍志務総合舎整備等事業	4369号
図面名称	図面番号
立面図(A-2)	A-
縮尺	
1/100	



B-2

南西側 立面図 1/100



南東側 立面図 1/100



北西側 立面図 1/100



株式会社INA 新建築研究所
東京・札幌・東北・名古屋・大阪・九州

訂正	発行	作成	プロジェクト名	プロジェクトコード	一級建築士事務所 株式会社 (株)INA
			苫小牧法務総合庁舎整備等事業	476011	管理棟 鈴木 伸
	承認	担当	図面名称	図面番号	一級建築士会館
		経ノ木, 湯原,	立面図(B-2)	1/100	第199574号 鈴木 伸

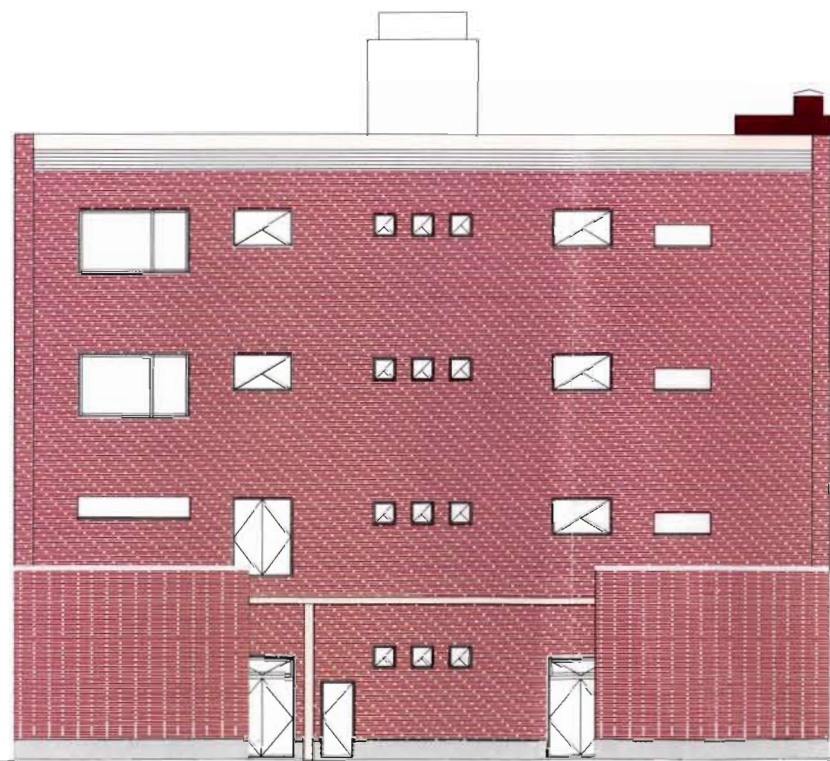


C-2

○ 南西側 立面図 1/100



○ 南東側 立面図 1/100



○ 北西側 立面図 1/100